

令和5年度（2023年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	国語	科目	古典B	学年	第3学年	類型	Ⅱ型
単位数	3単位	教科書	高等学校改訂版古典B 古文編・漢文編（第一学習社）				
補助教材	完全マスター古典文法（第一学習社）、新明説漢文（尚文出版） 核心古文単語351（尚文出版）、〔新版六訂〕カラー版新国語便覧（第一学習社）						

学習目標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。
------	---

学期	月	単元（学習項目）	学習内容・単元の目標	定期 考査
1 学期	4月	説話 今物語 やさしの蔵人	蔵人の歌と蔵人が踏まえた小侍の歌を正確に現代語訳させることで蔵人の機転を理解する。また歌徳説話として当時和歌がいかにかに人の心を動かす力を持っていたかを知る。	中間考査
	5月	逸話 説苑 不顧後患	訓読に慣れ、少孺子の説得の巧みさを理解する。 呉王がなぜ荊を伐つのをやめたのかを考える。	
	6月	随筆（一）枕草子 宮に初めて参りたるころ	日記的実録の章段を読み、当時の宮中生活や清少納言と中宮定子の関係についてや、清少納言の初宮仕えの心情を理解する。	期末考査
	7月	道家・法家の思想 莊子 渾沌 曳尾於塗中	莊子の生きた戦国時代について知り、莊子の思想を理解する。 巧みな比喩、弁論術に着目し、莊子の考え方を知る。	
2 学期	8月	評論（一） 俊頼髓脳 歌のよしあし	歌論の表現に接し、当時の人々の歌についての考え方を味わう。	中間考査
	9月	古代の史話 趙太后	触竜の説得の巧みさを読み取り、対話・説得における要点について考える。	
	10月	評論 玉勝間	宣長と兼好法師の考え方の相違を読み取らせ、宣長の思想を理解する。	期末考査
	11月	兼好法師が詞のあげつらひ	『徒然草』137段を読み、兼好法師の考えとそれに対する宣長の批判を考える。	
	12月	史記の群像 荊軻	中国の戦国時代の様相と、そこに生きる人間の処世術について考える。	
	12月	物語（二） 大鏡 三舟の才	人物を評価する語り手の視点や評価基準がどのようなところにあるか考える。	
3 学期	1月	日記 蜻蛉日記	作者が夫兼家の浮気を知り苦悩する場面に触れ、当時の結婚の形態を考えながら作者の心情を読み取る。また、歌に込められた思いや表現技巧などについても考える。	学年末考査
	2月	うつろひたる菊		
	3月			

学習の方法	事前学習では言葉の意味を調べたり、辞書を活用したりしながら古典を理解していきましょう。古文・漢文とも文法的知識を習得し、繰り返し音読することでより深く味わってみましょう。
-------	---

評価の観点	① 関心・意欲・態度	② 話す・聞く能力	③ 書く能力	④ 読む能力	⑤ 知識・理解
	古典を進んで学習し、伝統的な言語文化について理解を深めようとしている。	古典を正しく音読したり、調べたことを適切に文章にまとめたり発表したりすることができる。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察したり、古典特有の表現を味わったりする態度を身に付けている。	古典を読むために必要な、語句の意味、用法、文の構造、文法、音声、表記等を理解し、知識を身に付けている。
評価方法	評価の観点を踏まえ、定期考査の得点と平常点から総合的に評価を行う。平常点は提出物、レポート、小テスト、授業に取り組む姿勢を考慮して評価する。				